

## 電話相談事例 4 逐語録

時間：12分37秒

1. 相談員…はい、お待たせしました。がん情報サービスサポートセンターです。
2. 相談者…あの、こんにちは。
3. 相談員…はい、こんにちは。
4. 相談者…はじめまして、高木と申します。
5. 相談員…こちらこそ、はじめまして。
6. 相談者…えーとですね。すみません、いいですか。
7. 相談員…はい、どうぞ。こちらの音声聞こえていますか。
8. 相談者…はい。大丈夫です。あの…83歳の母のことなんですけれども。
9. 相談員…はい、お母様のことですね。
10. 相談者…ええ、つい先日、すい臓がんの疑いで。
11. 相談員…あ～、そうですか～。
12. 相談者…はい、そう言われまして。検査中で、今、総合病院に入院しているんですけど。結局、何ていうんでしょう。あの、手術はできないですし、それで、あの、結局、抗がん剤を打つか打たないかを決めるのに、それでちょっと悩んでまして。あの…がん以外にも体の方が、肺も悪くて、心臓も、あの、不正脈とか見つかって、今、それも調べている途中なんですけども。金曜日、あの、明日ですね、PETの結果もわかるんですけど、最終診断で。その時に、先生は、家族の方が決めろって感じで。副作用とかもありますし。
13. 相談員…あ～、そうなんですか、副作用を考えて、抗がん剤をするかしないかで悩んでおられるのですね。
14. 相談者…はい…心配で。
15. 相談員…それはご心配になりますよね。
16. 相談者…結局…なんていうんでしょう。あの、看護師さんとか、薬剤師さんとか、そういうふうに聞いてみましょう、と書いてあったので…あたしとしては、あの、娘としては、なるべくならさせたくないな、というふうに思っているんですけど。やっぱり、副作用のほうがおっかないので。

17. 相談員…はい、治療には、必ず副作用がありますものね。
18. 相談者…はい…。で、本人が、なんかコロコロかわるんですよ。
19. 相談員…お気持ちが…コロコロ変わると…。
20. 相談者…え～、しないって言ったり、するって言ったり。昨日の段階では、するっていうふうに言ってるんですけど。まあ、先生は、軽いので、って言うって。詳しい説明は本人を前にはしてないです。で、私が決めるようになってるので。まだ心臓のほうもちゃんと分かってだから。今こうやって電話かけてもあれなのか、とも思うんですけど。ただ、今の私の考えと母の考えが違うので。なんか、まあ、推し進めたいんですけど、どんなものかなっていう。
21. 相談員…そうですか。
22. 相談者…判断は、あの、結局家族だから。でも、なんか、こう言ってたわよ、て教えてあげたいような気もするし。
23. 相談員…そうですか。
24. 相談者…肺も重度ではなく、中度くらいなんですよ。悪いのが。
25. 相談員…あの肺あのが悪いと仰いますと、あの転移ではなくって、何か慢性的なご病気ですか。
26. 相談者…あ、そうです。はい。転移のこともまだ全然聞いていないんですよ。
27. 相談員…ああ、そうですか。
28. 相談者…あまり、こう、話できなくて…なんかこう、忙しいですし。
29. 相談員…先生が忙しくて、ですか…。
30. 相談者…中々こう、話すのも、なんか、こうつい遠慮しちゃうという感じになっちゃったりするので。なんか、こう、いつも遠慮しちゃうんですよ。
31. 相談員…なかなか、難しいですよ。先生を捕まえて、じっくりお話を聞くっていうことは。
32. 相談者…そうなんですよ。年に1回くらいずつ検診していて、たまたま5年前からかかっている。たまたま水が、あのたまってたんですけど。その水じゃないものところに影があつて。あの急に言われたもので。突然ですから。
33. 相談員…肺に水ですか。突然だったんですね。
34. 相談者…誰にも相談できず…今、二人暮らししているので。

35. 相談員…あの、娘さんとお母様とで二人暮らしですか。
36. 相談者…はい、そうなんです。高齢だから、止める人もいるし。結局、打ってみないとわかりませんもんね。
37. 相談員…そうですね。あの今、自覚症状などはございますか。
38. 相談者…あ、ないんです。
39. 相談員…あ、そうですか。
40. 相談者…今、なんていうですか、元気なんです。肺は、昔から悪かったんです。心臓は、ちょっと気がついていなくて。ま、悪いな、とは思っていたんですけど。何ていうか、結構、だからって、ん、どうなんでしょうね。
41. 相談員…迷いますよね。あの難しい選択だと思います。
42. 相談者…え、そうなんです。なるべくなら、そのままのほうがいいのかと自分では思ってるんですけどね。今、元気だし。
43. 相談員…そう思われるような、なにか、ポイントがあるのですか。
44. 相談者…なんていうんでしょう、副作用でまた具合が悪くなったら、結局、今、元気…なんですけど。いつどうなるか、わかりません。あの、そういうのも、まだ、聞いてはいないんです。人間の、それぞれ違いますから。どれぐらいっていても、あれでしょうけど。2cm くらいはあるって言われたんですね。
45. 相談員…あ～、すい臓の腫瘍が 2cm ですか。…あのステージとか進行度などは聞いてらっしゃいますか。
46. 相談者…聞いていません。
47. 相談員…あ、ではあの明日、PET の結果と共に、説明がなされるんでしょうね。あの、そのとき、現在利用できる最良の治療として標準治療っていうのがお話されると思います。それと、肺と心臓の機能と、あと年齢や体力と合わせて、推奨される治療方法が提示されるんでしょうね。あの…お母様は、抗がん剤の効果と副作用をご理解なさって、揺れている感じですか。
48. 相談者…あ、一応、口の中がこう、…口内炎？とか。最悪の場合とかも先生は教えてくれています。あの間質性肺炎だったり。
49. 相談員…そうですか。
50. 相談者…それとか、心筋梗塞で、あと脳梗塞？になったりするっていう、最悪の場合とかも聞いています。で、まあ先生自体は注射じゃなくて飲み薬っていうふうに、あの本当に軽いものっていうふうには、言っているんですね。

51. 相談員…はい、なるほど。
52. 相談者…そういう感じで。それでも、自分としては、どうせ、消えないんだし、飲んでも。
53. 相談員…がんは消えない、、、。
54. 相談者…え、ねえ、、、飲んでも・・・え、、、そのまんまのほうが。ホスピスとも考えたり。ああ、何て言うんでしょう。病んだら・・・病んだら最期ですけど、そういう感じ？って思ったり。
55. 相談員…そのままでもいいのかも、って思う気持ちもあるのですね・・・
56. 相談者…普段の生活の質を良くして、残り少ない・・・という感じに思ったりもするんです。なんか、ごちゃごちゃなんです。すみません。
57. 相談員…いいんですよ。大変な選択ですから、あの揺れるのは当然だと思います。
58. 相談者…ただ、決断を結局、明日の段階で、どうするか、っていう感じに言われているので。なんとなく、切羽詰まっ  
て電話したところなんですけど。
59. 相談員…はい。
60. 相談者…結局は、私と本人しかいないので。結論が、こう、私としては、あんまりすすめたくない、風に思ってるから。  
どんなもんなのかな、と思ってつい電話してみたんです。
61. 相談員…そうですか。あの今のその娘さんのお気持ちを、お母様にお伝えはなさいました？
62. 相談者…はい、はっきりは。
63. 相談員…あー。そうですか。
64. 相談者…病室にいるもんですから今。あの、4 人病棟で、4 人部屋で。なんか、結構、おしゃべり好きなお母さんとかいて、話がなかなかできないんですよね。ちょっと出して、話せばいいですかね。外で。
65. 相談員…そうですね。あの食堂やソファがちょっと置いてあるところがありますか。
66. 相談者…あつ、あります、あります。そうしてみます。私の気持ちを伝えて、あとは本人が判断すればいいことですね。
67. 相談員…そうですね。
68. 相談者…すみません。相談するのが、親戚の人に言っても。結局、答えようがないですし。

69. 相談員…なかなか難しいですね…。お二人で十分話し合っただけで決めた決断が、最善の決断だと思います。
70. 相談者…あ、はい。…スミマセン。なんか。
71. 相談員…あの、インターネットとかは、お使いですか。
72. 相談者…いや、あの持っていないんです。情報源というのが、もう全然ないので。あまり、知ってもあれだし。
73. 相談員…そうですか。よければ、治療について、先生に、質問するときのポイントなどをご紹介しますでしょうか。
74. 相談者…はい、スミマセン、教えて頂けますか。
75. 相談員…はい、例えばですけども…。あの、国立がん研究センター、がん対策情報センターが提供してます「がん情報サービス」という HP の、「がんと付き合い方という、精神腫瘍学の先生が主に作られたものからご紹介します。治療、抗がん剤って今、言われていることなので、抗がん剤の治療について説明を求めたいときは、抗がん剤の種類、回数、期間を確認しましょう…。
76. 相談者…はい、種類、回数…。
77. 相談員…はい、あと、期間、副作用、期待する効果
78. 相談者…あ、はい。期待する効果。ありがとうございます。
79. 相談員…あとは、生活への影響はありますか。
80. 相談者…あー、それが一番ですね。
81. 相談員…えー、食事や、家事。あの、今も、お母様は、家事等もなさってるんですか。
82. 相談者…はい、一応、本人、好きなので。
83. 相談員…あー、そうですかー。立派なお母様ですね。
84. 相談者…とんでもない、私が、頼りなくて…。生活の影響ですね…それが一番大事ですね。教えて頂けて良かったです。でも、なんか聞いてもらうだけでもありがたかったです。
85. 相談員…あーそうですか。大切なお母様なんですね。あの、これを機会に、今まで話せなかったことなど色々語り合ったりできるとよろしいですね。
86. 相談者…そうですね。逃げてました。外泊してきた時も、逃げてて、忘れるようなことして、肝心なこと話さなくて。

87. 相談員…あーそうでしたか。
88. 相談者…きっと、そうですね。
89. 相談員…お母様も辛いお気持ちでいらっしゃると思うので、辛さ悲しみは分かち合うと半分になるって言いますし。
90. 相談者…あ、どうもありがとうございます。
91. 相談員…喜びは、二人で分かち合うと倍になるって言います。
92. 相談者………はい。
93. 相談員…しっかり、あのどうぞ、話し合って頂いて、納得のいくご決断ができればと願っています。
94. 相談者…あ、どうもありがとうございます。あ、ありがとうございました。また、わからなかったら、かけてもよろしいですか。
95. 相談員…はい、どうぞ、いつでも、またお掛け下さい。
96. 相談者…はい、ありがとうございました。どうも、失礼いたします。
97. 相談員…はい、失礼いたします。